

川西市議会議員 きたうえあきひと
北上哲仁

2004年4月

編集: 北上哲仁サポーターズ

川西市萩原台東1-275-3

TEL 072-758-7724

FAX 072-758-7725

いなほだより

<http://www.kitaue.com>E-mail akihito@kitaue.com

1951年12月7日 第三種郵便物
認可 社会新報/号外
社会民主党全国連合機関紙宣
伝局 週刊(水曜日発行)
東京都千代田区永田町1-8-1
電話(代)03(3580)1171
定価180円 1ヵ月700円
送料160円

平和施策の推進を

3月議会報告

子ども達に働く喜びを...



桜が満開です。お元気でしょうか。いつもお世話になり感謝の気持ちでいっぱいです。さて、3月議会では「平和施策の推進」と「子どもたちが働くことの喜びと意義を学ぶ機会」について質問しました。

平和施策の推進について

私は昨年11月に子どもが生まれました。自らの子どもの命が尊いように、世界の子ども命は等しく尊いと信じます。そして、子どもたちに平和な未来を保障するのは、大人の責任であり、政治の役割です。

川西市では「非核平和都市宣言」のもと、核廃絶と平和な世界の創造を求めて、市内各地で「かわにし平和展」を催す等の活動を行っています。昨夏は市民の実行委員会によって「朗読劇・この子たちの夏 1945・ヒロシマ ナガサキ」上演が企画され、文化会館に約1000人が集いました。また、市内には被爆体験を語り継ぐ市民や、アジア各地の支援に努める市民、諸外国との文化交流に取り組む市民等、平和のために活動する人材が沢山おられます。平和は国のリーダーに任せることで実現できるものではありません。市民の地域に根ざした地道な行動が、今益々求められています。平和を願う市民の熱い思いに応えていくためにも、平和施策の拡充が必要です。

30年前、人種差別撤廃を目指し闘ったマルチンサーキングは「I have a dream」と言いました。「私の子どもたちは肌の色ではなく、その人格によって判断される国に住むに違いない。

私は、本当にそのことを夢見ている」と訴えました。私たち川西市民にも夢があります。それは「非核平和都市宣言」です。世界平和の実現がいかに困難か、そのことを語るのは簡単です。しかし、私たちは夢を持って、世界に平和のメッセージを発していきたい。市と市民のパートナーシップに基づいた平和施策の更なる推進を求めます。

働くことの喜びと意義を学ぶ機会について

今、子どもたちが「働くこと」を実感しにくい時代になっている。核家族化・地域共同体の崩壊・情報化・グローバル経済による労働環境の変容などが、子どもたちの仕事観に大きな影響を与えています。

中学生時代は、不安と戸惑いの時期だといわれています。この時期の子どもたちが、「働くこと」の喜びや意義を学ぶことはとても大切です。それは自分の持ち味を見出し現実社会の中でどう発揮していくのか、将来を見通すことに繋がります。不安と戸惑いの時期を生き抜く力であり、学ぶ意欲の土台になると思うのです。総合的学習やトライやるウィークなどあらゆる機会を通じて、「働くこと」について学ぶ機会を充実していくべきです。

3/20世界反戦統一行動

戦争では何も解決しない！



(写真は1月24日のピースアクション)

米軍がイラク攻撃を始めてちょうど一年になる3月20日、世界で「イラク侵略反対」の行動が取り組まれました。日本でも「自衛隊は

今すぐイラクから撤退を」「非軍事での貢献こそ必要」の声が、京都・神戸・大阪など各地であがりました。川西能勢口駅前では、市民のリレートークを開催。小泉首相宛の抗議葉書配布や、ギターの演奏などで平和への思いを約1時間、訴えました。川西では市民・労働団体・宗教家・学者などが力を合わせ、「PEACE ACTION」の取り組みを続けています。

外交面で軍事大国化すれば、内政において民主主義が否定されるのは歴史の経験から明らかです。現在でも、政党機関誌や反戦ビラを配布した市民に対する不当な逮捕や家宅捜索などが行われ、政治活動や言論・表現の自由が弾圧されています。負けずに元気を出して反戦活動を盛り上げましょう。小さくても声をあげ続けましょう。

学校給食の米飯が週2回に

市民の長年の運動が実り、二学期から学校給食の米飯が、ようやく週1回から2回(兵庫県下で週1回は川西だけ。国の基準は週3回)になります。小さな前進です。

米飯給食が望ましいのは、小麦に比べアレルギーが少ない。パンの原料である輸入小麦はポストハーベストが心配。米飯は伝統食であり、和食のおかずは健康的などの理由からです。

市教委に念押し

先日の市議会では「週二回にしたのは評価できるが、これで終わりではいけない。更に回数を増やす努力をするように」と市教育委員会に念を押ししました。

新年度から「米粉パン」が導入されますが、

これは米飯の代わりにはなりません。輸入小麦(グルテン)や油・砂糖が材料に使われているからです。パンのバリエーションが一つ増えたと考えべきでしょう。

子どもの健康こそ第一

小児生活習慣病や肥満、アトピーなど子どもたちの体に異変が起こっています。食は子どもの成長と健康を第一に考えなくてはなりません。安全で美味しい給食のためには「地産池消」が必要ではないでしょうか。今後は地元生産現場へ出向いての交流や、生産者を招いての学習会などを行いたいと思います。また、給食を教育(食育)として捉え、そのあり方を根本的に見直し、改善していきたいです。



こんなものいらない

「不法投棄監視カメラ」

不法投棄処理事業の一環として、今年度より監視カメラが設置(約100万円)されます。撮影した映像は犯人逮捕のため、警察に提出することもあると言うのです。私は疑問を覚えます。市の個人情報保護条例では原則として個人情報「本人の同意の基に、本人から収集する」「外部提供は禁止」と定められています。カメラでの監視は条例違反の疑いがあります。また犯人逮捕のための設置は、市の行政目的を逸脱しています。廃棄物処理法で認められる「立ち入り検査」ですら、その目的は指導等です。民

間企業や個人が生命・財産を守るためにカメラを設置するのは事情が違います。私は議会でも「設置するべきではない」と訴えました。仮に設置するのであれば、個人情報保護審議会等での十分な検討が必要ですし、市民に対して説明責任を果たすべきです。不法投棄がイケナイことは明らかですが、人権・プライバシーを蔑ろにすることは許されません。人間の尊厳に関わる問題です。「いつもどこかでカメラに監視される」・・・そんな街にはしたくはありません。

市道等不法投棄処理事業には啓発やパトロール、撤去作業に市の職員も汗をかいています。

皆さん、不法投棄は止めましょう!

「こんなものいらない」は次回以降、皆さんの声を掲載します。

公的書類の性別記載欄 不必要なものは削除を

性同一性障害や性的越境者など性的少数者への配慮から、公的書類の性別記載欄を可能な限り無くす動きが全国的に始まっています。宝塚市でも今年度から70の公文書で削除されました。先日、性同一性障害の皆さんと共に「公文書に記載する性別と外見上の性別が一致しないことで不都合が生じている」と担当職員に説明しました。また、男女共同参画・男女雇用機会均等の考え方からも不必要な性別欄は削除をするべきです。性別記載は、固定的な性的社会役割に従うよう作用する危険性を持ちます。公的書類の性別記載欄が今年度中に見直されるよう働きかけたいと思います。

しごと・くらし何でも相談

普段の生活や仕事で困ったことや不安はありませんか。一人で悩まずに一緒に考えましょう。

顧問相談員

恵須川満延行政書士 小池貞二社会保険労務士 大川一夫弁護士 在間秀和弁護士
連絡：北上事務所 758-7724 議会控室 740-1111 内線 4060 北上携帯 090-3613-7069

北上サポーターズで斡旋中

歯ごたえ抜群! 美味しい! ダイエットに最適!

トレテスの無農薬 乾燥糸こんにゃく

5袋(1袋=25g10個入り)2250円。熱湯で戻せば、1個約60gになります。

お申し込み ファックス 072-758-7725 川西市内は無料で配達いたします。

「喜んでいきます」 留守家庭児童育成クラブ 保護者

各小学校区の留守家庭児童育成クラブは、1年生から3年生を対象にしています。4年生以降は自立して留守番できる子が多いからです。しかし、私の子どもは障害があり、高学年になっても一人で放課後を過ごすことは難しいのです。

北上さんに相談し、一緒に教育委員会の方と話し合いました。また、現場に足を運んでもらい議会でも質問してもらったのです。嬉しいことに、4月から障害を持つ子どもについては6年生まで受け入れが可能になりました。力をあわせ行動すれば、思いが叶うのです。本当に喜んでいきます。

今回、保護者の皆さんの働きかけによって改善が実現できました。障害を持つ子どもとその家族の選択肢がひろがったことは良かったと思います。今後も障害を持つ子どもに、どのような支援が必要なのか、子ども自身や家族の皆さん、現場の職員の皆さんと共に研究していきたいと思ひます。

「育成クラブ」について、議会で幾つかの要望・質問をしました。育成料は低廉に。(今年度より有料化、4500円の育成料を徴収。入所希望者が約620名から約100名減) 保護者の勤務時間に合わせ、時間延長を。(現行17時終了。労働団体からも延長の要望が出ている) 嘱託指導員の待遇改善を。(近隣市に比べても、市内の保育・教育嘱託職員に比べても低い) 職員研修の充実を。子ども・職員・保護者・地域住民等を含めて「指導指針」の作成を。

少子化対策が国・地方において重要な課題になっています。少子化の原因は複合的ですが、一つは教育費の負担が大きいこと、もう一つは育児と仕事の両立が難しいことにあると思ひます。児童育成クラブの果たす役割は大切です。皆さんのご意見をお寄せください。

4. 10市政報告会

とき 4月10日(土)午後2時～4時 受付開始1時30分

ところ 阪急川西能勢口駅前 アステ川西5階 コンパス130

報告 川西市議会議員 北上哲仁 (参加無料)

特別講演 「いま、平和憲法を活かすとは」

英国エジンバラ大学特任客員教授

國弘正雄さん

1930年生まれ。「同時通訳の神様」として知られる。文化放送「百万人の英語」講師、上智大学講師など歴任。ニュースキャスター・解説委員をつとめた後、三木内閣時に外務省参与として先進国サミットなど外交交渉の舞台上で活躍。参議院議員などをへて、英国エジンバラ大学特任客員教授。現在、テレビなどで、イラク問題や日米関係に鋭く切り込む発言を続けている。